



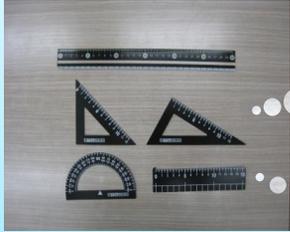
本校の教育相談室にある視覚補助具を紹介します！

教育相談室には、見えにくさに配慮した視覚補助具がたくさんあります。本校の幼児児童生徒が授業や学校生活の中で活用したり、教育相談の学習支援に使用したりしています。

ここで紹介できるのは、その一部となりますが、視覚補助具について紹介したいと思います。

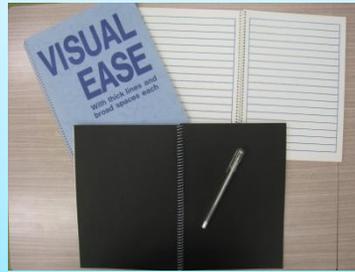
便利グッズ

定規（白黒反転）



「0」のところにくぼみや突起があり、ペン先を当てて起点がずれないように工夫して使うことができる。

ビジュアルリーズ（ノート）



太い罫線ノートで、罫線の色は青と茶の2種類がある。

写真の下は、黒い紙のノートで、白のマジックで書くと白黒反転された状態になり、とても見やすくなる。

※これらの便利グッズは、「大活字」「日本点字図書館ホームページ」にて購入することができます！

弱視レンズ

遠用弱視レンズ（単眼鏡）



遠くの物を見るときに使う。

本校には、倍率が2倍から10倍までの単眼鏡がある。ピント合わせは、レンズを回すものや、スライドするものがある。

近用弱視レンズ（ルーペ）



教科書・辞書・印刷物・地図等を見るときに利用したり、漢字のお手本を見ながら練習したりするときを使う。

手持ち型、置き型、スライド式のルーペ等様々な型がある。

拡大読書器

拡大読書器…テレビ画面に文字等を大きく映し出す器械。他の視覚補助具と比べて、高倍率で、鮮明な画像を得ることができる。

形状で分けると、据置型、携帯型に分けられる。据置型は本体の下に読みたいものなどを置くと、テレビモニターに画像が映し出されるタイプ。多くのメーカーがこのタイプを製造している。

本校には、据置型の拡大読書器が20台ほどあり、必要な場合には、地域の学校にも貸し出しを行っている。

